

之れ、惟小大勞働組合の健全なる發達を無視して單に急激有る
社會變革を空想せる一派或は一城一廓所獨占然らず小黨
今立の對立が現下勞働組合の合理的組織の發展を阻害してゐ
るものであるから現象は憾嘆に堪えざる處であるまた深い反省
し眞實の道を直進するは運動の後事すもの、當然の責務と信
ず故に志を同じにする人士と共に各當面の問題たる研究調査
進んでは教育を以て堅実なる勞働組合の發展を助長し次第
に全日本の勞働組合の組織を整備し社會改造の正しさ一大勞
働軍を進ましめんとする意圖を以て京浜勞働協會を設立せ
人とするものである。

而して秋闇雜誌「勞働運動」を刊行し十二月十六日には折柄東朝
中のアーベルトーマ君を笠衙調會館に招いて質問の懇談會
を開いた。

昨年五月全國大會當時總聯合所屬組合數二十二組合下
あつた關西聯合會其所屬せる關西メソヤ不工組合、金庫工組合
食糧勞働組合大阪製鐵工組合の四團体は七日毎條件合同之節
一大段一勞働組合の條件を定めたのである。其の後も逐段の進歩を示
たが組合員数は及つて二十九ハーベントカ増加を不してゐる而
して產業別に觀察すれば關東方面は殆んど金属產業にして
關西半分掛かからざるまで金属產業が第一位にて過半
數である續いて雜工業電氣硝子皮革織維木枝印刷の順
序である而して鐵維產業の組織運動は全國所々上昇を示
してゐる

その後關西聯合會の發展とその統制上大阪聯合會組織の
要迫より九月之内を結成せしめた

爭議部の報告

本年度の勞働紛議を色濃く特徴づけるものは勞働組合の常
大自重の態度を持せるに拘らず大資本の計画的反動と
從つて勞働争議は資本家の無理解と傳聞に基く團結權
獲得の關係が第一位であつた。

第二は債銀不拵約束不履行と含む勞働條件の解雇
反対の爭議であるこの爭議が最も深刻として爭議日數の如き